



平成18年度

第1回CPC

「心タンポナーデの1例」

開催日：平成18年4月19日(水)

時間：17:30～

場所：病院本館C41講義室

関連科：血液免疫内科、循環器内科、呼吸器内科、
脳神経外科、臨床病理学

司会：松井 真 先生（神経内科）
佐川 元保 先生（呼吸器外科）

ミニレクチャー：梅 博久 先生（呼吸器内科）

症例：40歳代 女性
嗜好歴：タバコ 30本/日×24年
アルコール 機会飲酒
現病歴：左頸部腫瘤を自覚し、近医にて悪性リンパ腫を疑われ、当院に紹介となった。胸部XPにて両側胸水、心嚢水の貯留を認め、心タンポナーデによる心不全徴候があり、心膜開窓術、心嚢水ドレナージが施行された。右図は初診時の胸部XP像である・・・（詳細は当日配布）・・・



CPC(臨床病理検討会)は病理解剖症例をもとに、私たちの医療行為を振り返り、医療の質の向上をはかることを目的とする勉強会です。研修医、各科医師はもちろん、学生、全職員、院外の先生方にも参加いただけます。放射線科医による画像の読影、コメディカルや看護師による指定発言、今回は心タンポナーデ等に関するミニレクチャーも予定しています。

参加し、勉強しましょう！！